

石井町総合戦略評価シート

(評価対象年度：令和2年度)

作成者：石井町総務課

【評価シートについて】

○この評価シートは、令和3年3月に策定した石井町総合戦略に位置づけられた施策について、K P I 等により評価・検証し、必要に応じた総合戦略の改定を実施するために作成したものです。

○R 2 取組内容と進捗状況・課題欄には、主な取組の成果や課題等を記入しています。

○今後の取組方針欄には、令和2年度の実績見込み、令和3年度以降の施策の取組方針を記入しています。

○自己評価欄は、R 2 取組内容と進捗状況により、令和2年度における施策の担当課における自己評価を記入しています。

自己評価の基準	A：事業内容は適切である B：事業内容は適切だが、課題が少しあり、事業の一部見直しが必要 C：課題が多く、事業やK P I の大幅な見直しが必要 D：事業の休・廃止を含めた検討が必要	全体評価	施策数：53項目 A評価：25項目 B評価：28項目
---------	--	------	----------------------------------

○KPIについては実績値（R 2）により目標数値の達成度を評価しています。

数値目標の評価基準	◎：数値目標を超える成果があった ○：数値目標を概ね達成できた △：目標には達しなかったものの成果はあった ×：まったく目標に達しなかった —：その他	全体評価	K P I 数：46項目 ◎：16項目 ○：10項目 △：15項目 —：5項目
-----------	---	------	---

【基本目標１】子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進

番号	数値目標	工程（年度別事業計画）					実績値	数値目標の達成度	担当課
		R2	R3	R4	R5	R6			
1	子育てしやすいまちだと思う人の割合 84.3%（H30）→90%（R6）							<報告数値について> 石井町子ども子育て支援事業計画アンケート調査 <次回の計画策定及びアンケートの実施時期について> ①次回の計画策定予定年度：令和6年度 ②アンケート調査の実施時期：令和5年12月ごろ	子育て
2	転入者-転出者の数 3人（H30）→127人（R2～R6の累計）							<報告数値について> 人口移動統計調査（年報）報告数値【R2】 ①男（転入 人、転出 人）女（転入 人、転出 人）	住民

【基本目標２】暮らしやすい生活環境の形成

番号	数値目標	工程（年度別事業計画）					実績値	数値目標の達成度	担当課
		R2	R3	R4	R5	R6			
1	「住みやすい」と答えた人の割合 90.9%（R1）→91%（R6）							<報告数値について> 人口ビジョン及び総合戦略町民アンケート調査 <次回の計画策定及びアンケートの実施時期について> ①次回の計画策定予定年度：第3次石井町総合戦略（R6） ②アンケート調査の実施時期：令和6年度	総務

【基本目標３】産業の振興と雇用の場の創出

番号	数値目標	工程（年度別事業計画）					実績値	数値目標の達成度	担当課
		R2	R3	R4	R5	R6			
1	町内事業所従業員（民営事業所） 8,459人（H28）→8,500人（R6）							<報告数値について> 経済センサスー活動調査（令和3年6月1日調査） <調査スケジュール及び結果公表の時期> ①R2～R6までの調査スケジュール：令和3年6月1日調査 ②調査結果の公表時期：令和4年5月ごろ	総務
2	経営面積1Ha以上の農業経営体数の割合 31.9%（R1）→35%（R6）							<報告数値について> 農林業センサス（令和7年2月1日調査） <調査スケジュール及び結果公表の時期> ①R2～R6までの調査スケジュール：令和7年2月1日調査 ②調査結果の公表時期：令和7年11月ごろ	総務

基本目標1 子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
① 子育て支援の充実	1 子育て環境の整備	推進					<R2取組内容と進捗状況> ・妊娠届出数：182人（内4人多胎） ・乳児（4-5か月児）健診受診者数：（集団）35人（個別）109人 ・1歳6か月健康診査受診者数：172人、受診率92.5% ・3歳児健康診査受診者数：195人、受診率94.2% ・股関節脱臼検診（個別）受診者数：206人 ・妊婦一般健康診査受診延人数：2,241人、要精検者26人 ・多胎妊婦超音波検査受診件数：7件 ・乳児一般健康診査受診延人数：360人、要精検者3人 ・新生児聴覚検査受診人数：174人、要再検者0人 ・発達相談件数：65人（延べ74人） ・乳児家庭全戸訪問件数（低出生体重児含む）：155件 ・養育支援訪問延件数：16件 ・子育て世代包括支援センター利用者支援事業件数（妊婦相談指導、電話相談、面接相談、健康教育）：1,007件 ・産後ケア事業：70件 ・妊娠期からの継続した健康診査・健康相談により、母子の健康保持増進を図ることができた。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、法定健診以外の健診は中止又は個別健診として実施した。歯科継続健診は終結とした。 ・子育て世代包括支援センターの周知啓発のため愛称「ひだまり」を設定した。新型コロナウイルス感染症の影響で、集団指導や子育て支援の場での相談機会等が減ったこともあり、ひだまりの利用者数が増加し、特に妊娠期と産後の支援を充実させることができた。 <課題> ・歯科継続健診終結に伴い、健診での口腔衛生や発育発達面のフォローの機会が減少した。 ・健康相談・健康診査を実施し、継続した支援を行っていく。 ・産後ケア事業でより手厚い支援が必要な第1子の全数訪問の目標達成できなかった。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・新型コロナウイルス感染症対策をとりながら安全な集団健診の実施方法を検討する。 ・歯科継続健診終結に伴い、電話や訪問等での個別フォローを行っていく。 ・子育て世代包括支援センターひだまりでの保健師相談日を新設した。 ・産後ケア事業の第1子は原則訪問を継続し、利用を勧奨する。	・妊娠期から就学前までに実施している各種健診と個別フォローにより、継続した健康相談・健康診査によって、母子の健康保持増進を図る。 ・コロナ禍においての集団健診の実施方法について検討。個別対応を重視し個別で手厚く支援していく。	健増	A
	1) 母子保健対策の推進 母子保健システムを活用し、データで健診結果等を管理することで、健診後フォロー等の必要な支援を実施します。 子育て世代包括支援センターを中心とした妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制により、妊娠中の母体の健康管理対策やライフサイクルに応じた母子保健対策を推進します。 産後の育児不安の軽減による母親の孤立防止や虐待予防対策の充実、乳幼児健診未受診者への対策等により、子どもの健やかな成長を支援します。 ・乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問事業） ・1歳6か月児・3歳児健康診査事業 ・子育て世代包括支援センター									

基本目標 1 子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進

項目		主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価		
				R2	R3	R4	R5	R6						
① 子育て支援の充実	1 子育て環境の整備	2）子育て支援事業の充実 子どもや子育てを取り巻く環境の変化に対応し、家族や地域の子育て力の向上のため、子育て支援事業を実施するとともに、新たな支え合いの仕組みの構築について検討します。また、子育て支援の充実に向けて、保育に携わる人材の確保に努めます。 国の幼児教育・保育の無償化に併せて、副食費の無償化等の本町独自施策を実施することで、保護者の経済的負担を軽減します。		実施					<R2取組内容と進捗状況> ・地域子育て支援拠点事業利用者延人数：5,371人 ・徳島ファミリーサポートセンター事業利用者利用件数：222件 ・一時保育事業利用者延人数：1,690人 ・病児保育事業利用者延人数：306人 ・放課後児童健全育成事業利用児童数：446人 ・放課後子ども教室利用児童数：36人 ・地域子育てネットワーク推進事業（「みらいフェスタinいしい」及び「石井町親子クリスマス会」は新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止となった。「15歳児クリスマス絵画展」では町内の幼稚園、保育所等に送る5歳児のクリスマス絵画作品展を行った。） ・各種施策に取り組み子育てしやすい環境作りに努めた。 ・要保護児童対策地域協議会の実務者会議や、個別ケース会議を定期的に開催。各機関との情報連携を行い、児童虐待の発生予防に努めるとともに、女性問題等に対する相談支援を行った。 ・幼稚園預かり保育事業利用者数：年間延べ2,970人（17時 1,678人、18時 789人、18時半 291人、19時 212人） <課題> ・平成27年度から施行された子ども・子育て支援新制度への対応を継続し、住民ニーズを把握するとともに、国の制度改正や県、他市町村の動向も注視しつつ施策を推進していく必要がある。 〈R2→R3戦略の改善見直し箇所〉 ・増加する複雑・困難なケースに対応できるよう、引き続き定期的に要保護児童対策地域協議会の実務者会議や個別ケース会議を開催するとともに、有識者や専門機関の意見を踏まえ、要保護児童に対する適切な支援・保護の在り方についての協議を深めていく。	・事業を継続するとともに、最新の情報をHP、CATV、いしいアプリ、インスタグラム等を利用して子育て支援情報を発信する。 ・子育てハンドブック等を活用し、各種子育て支援事業についての情報提供に努めていく。	子育て健増学教社会	A		
													・副食費助成事業補助金 ・0～2歳児の保育料の無償化（第2子以降） ・地域子育て支援拠点事業 ・徳島ファミリー・サポート・センター事業 ・一時預かり事業（一般型）補助金 ・病児保育事業 ・放課後児童健全育成事業 ・放課後子ども教室推進事業 ・延長保育事業補助金 ・地域子育て支援ネットワーク推進事業補助金 ・子育て短期支援事業 ・子育て世代包括支援センター運営【再掲】 ・幼稚園子育て支援事業補助金 ・幼稚園預かり保育事業 ・家庭教育学級（中央公民館主催講座）	
		3）保育施設の整備 安全で安心した環境の下、適切な教育・保育を提供することができるよう、老朽化している施設の修繕等を実施するとともに、保育のニーズに対応できるよう適正規模の施設整備を実施します。		実施					<R2取組内容と進捗状況> ・保育所における、各施設の維持修繕を行った。 <課題> ・施設の老朽化、保育ニーズの増加等に対応できるよう、今後の施設整備を検討していく。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・保育施設の計画的な整備・維持管理に努める。	・保育施設の利用ニーズを見ながら、今後の施設整備を検討していく。	子育て	A		
													・町立保育所施設管理費 ・保育所施設整備事業	
		【KPI】乳児家庭全戸訪問事業実施率 98.5%（H30） → 99%（R6）		計画値	98.6%	98.7%	98.8%	98.9%	99%	・KPIである乳児家庭全戸訪問事業実施率は、99.4%であり計画値を達成した。	健増			
				実績値	99.4%									
				数値目標の達成度	◎									
		【KPI】1歳6か月児健診の受診率 98.2%（H30） → 99%（R6）		計画値	98.3%	98.4%	98.6%	98.8%	99%	・KPIである1歳6か月児健診の受診率は、92.5%であった。新型コロナウイルス感染症の影響もあり例年より受診率低下し、目標達成できなかった。	健増			
	実績値			92.5%										
数値目標の達成度	△													
【KPI】3歳児健診の受診率 95.2%（H30） → 98%（R6）		計画値	96%	96.5%	97%	97.5%	98%	・KPIである3歳児健診の受診率は、94.2%であった。新型コロナウイルス感染症の影響もあり例年より受診率低下し、目標達成できなかった。	健増					
		実績値	94.2%											
		数値目標の達成度	△											

基本目標1 子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進

項目		主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R2	R3	R4	R5	R6				
①子育て支援の充実	2 経済的支援	1）子育て世帯への経済的支援 児童手当、18歳到達後の最初の3月31日までの医療費の助成、子育て応援祝金等、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るための支援を行います。 ・児童手当費 ・児童扶養手当 ・子どもはぐくみ医療費助成事業（補助分、町単分） ・石井町子育て応援祝金支給事業（ひとり親世帯に対する入学支度金） ・多子世帯における保育料の免除 ・放課後児童クラブ利用料軽減事業 ・在宅育児応援クーポン事業	実施					<R2取組内容と進捗状況> ・児童手当：支給対象児童延人数32,369人 ・子どもはぐくみ医療助成事業：受給件数46,472件、療養費件数：1,482件 ・子育て応援祝金：（出産祝金：8件、ひとり親世帯に対する入学支度金：54件） ・児童扶養手当：受給資格者数241名 ・令和元年10月から実施された幼児教育・保育無償化に伴い、3歳から5歳児全世帯、0歳から2歳児の住民税非課税世帯の保育料の無償化を図る。また、町独自の施策として、①0歳児から2歳児の第2子以降（第1子の年齢が18歳未満の場合）の保育料の無償化、②3歳～5歳児の副食費も石井町が負担し無償化する ・放課後児童クラブ利用料軽減事業：対象者30人 生活保護世帯は無料、町民税非課税世帯であってひとり親世帯や障がい者の属する世帯等の場合は1/2軽減とし、保護者の負担を軽減。 ・在宅育児応援クーポン事業：クーポン交付人数163人 0～2歳までの子どもを在宅で育児している保護者を対象に子育て支援サービスに使えるクーポンを交付する。（交付要件あり） <課題> ・助成事業の周知・啓発を図る。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を実施していく。	・事業を継続するとともに、最新の情報をHP、CATV、いいアプリ、インスタグラム等を利用して発信していき、働きながら子育てをしやすい環境の整備を図る。 ・在宅育児応援クーポン事業について、令和3年度より利用できる子育て支援サービスを追加する。	子育て	A
		【KPI】 子育ての経済的負担が図られていないと思う割合 6.0%（H30） → 5.0%（R6）	計画値	5.8%	5.6%	5.4%	5.2%	5%	・KPIである子育ての経済的負担が図られていないと思う割合は5.2%であり計画値を達成した。	子育て	
			実績値	5.2%							
			数値目標の達成度	◎							
	3 不妊治療への助成	1）特定不妊治療への助成 県が実施する特定不妊治療費助成事業（このとり応援事業）を活用し、不妊治療にかかる経済的負担の軽減を図るとともに、事業の周知・啓発を図ります。 ・このとり応援事業	実施					<R2取組内容と進捗状況> このとり応援事業：助成案件数26件（延件数45件） <課題> ・県のこのとり応援事業の動向を踏まえ、治療費助成により経済的支援の継続を図る必要がある。 ・事業の周知啓発を図る。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・不妊に悩む方への特定治療支援拡充について、国の施策や県のからの通知事項に対応し、事業内容の見直しを行う必要がある。	・不妊に悩む方への特定治療支援拡充について、国や県の動向により事業内容の見直しを行い、変更点についての対応・周知を行う。	健増	A
		【KPI】 このとり応援事業の活用件数 34件（H30） → 40件（R6）	計画値	36件	37件	38件	39件	40件	・KPIであるこのとり応援事業の活用件数は45件であり、計画値を達成した。	健増	
実績値			45件								
		数値目標の達成度	◎								

基本目標１ 子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
② 教育の充実	1 子どもの教育環境の充実									
	1) 豊かで確かな学力の育成 様々な学びを通して協同性、道徳心、思考力・伝達力の育成、豊かな感情表現等を育み、健康な体と心を育む教育を実施します。また、子ども一人ひとりの発達課題に応じた指導ができる幼稚園教諭、教職員の育成を図ります。 小・中学校においては、全国学力・学習状況調査、徳島県ステップアップテストより町内各小学校・中学校の基礎学力や知識の習得状況、学習に対する意欲や態度などを調査・分析し、授業での指導方法の工夫や改善に生かします。 ・全国学力・学習状況調査、徳島県ステップアップテスト ・幼稚園教諭、教職員の指導力向上	実施					<R2取組内容と進捗状況> ・全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルスの影響で未実施。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、学校行事をはじめ、様々な教育活動が制限されたが、町内各校（園）長と情報交換を積極的に行い、教育内容や活動内容を工夫し、子どもたちの学びの保障に取り組んだ。 ・徳島型メンター制度の導入の推奨をはじめ、教職員の資質向上のための研修の充実を働きかけた。 <課題> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、県主催の研修会等もオンラインでの実施が増えている。教員の資質向上のため、ICT環境を整えるとともに校内研修の更なる充実を図る必要がある。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を実施する。	・全国学力・学習状況調査や徳島県ステップアップテストの結果を分析し、指導方法の工夫・改善に生かす。	学教	B
	2) 学びを支える教育環境の整備 教育環境・教育条件の向上を図るため、耐震改修や施設の点検、情報処理能力育成のための環境整備等により、学校施設の計画的な維持管理・改善に努めます。また、気象変化による猛暑への対応として、各幼稚園、小・中学校への空調整備とともに、ウォーターサーバーの維持管理を行います。 また、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機としてICTの利活用の加速化により、子どもたちが意欲的に学習に取り組めるGIGAスクール構想を推進するとともに、学校生活において当該感染症の拡大及びクラスター発生の防止を図ります。 ・健康管理費（小学校費・中学校費・幼稚園費） ・小学校施設整備事業 ・中学校施設整備事業 ・幼稚園施設整備事業 ・小学校、中学校インターネット接続事業 ・理科教育等設備整備費備品購入費（小学校費・中学校費） ・小学校、中学校ICT環境整備事業 ・小学校トイレ改修事業 ・新型コロナウイルス感染症対策小学校（中学校）施設整備事業	実施					<R2取組内容と進捗状況> ・学校施設環境改善交付金の交付を受けて、石井町立小学校（5校）のトイレ改修事業が完了した。 ・ネットワーク環境施設整備事業が完了した。 ・ICT環境整備事業では、GIGAスクール構想により小・中学生に1人1台の学習用端末、ソフトウェア、貸出用ルーター等の整備を行った。 ・施設整備事業では、中学校において、3密を避けて生徒が学習できるよう教室に冷暖房設備の設置を行っている。 <課題> ・各学校からは多くの教育環境の整備箇所の要望があるが、財源の問題もあるため必要性の高いものから計画的に整備を進める必要がある。 ・GIGAスクール構想実現に向けて、ICT活用等のための研修の充実が必要である。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を実施する。	・各学校から要望があった教育環境の整備について、限られた財源の中で計画的に整備を進める。 ・町ICT支援員によるサポート等により、ICTを活用した授業の充実を図る。	学教	A
	3) 健やかな体の育成 幼稚園・小学校への巡回体育指導、中学校への運動部活動支援を推進し、子どもの体力向上、教員の指導力向上を目指します。 運動のおもしろさを体験できる授業を工夫し、運動習慣を身につけるとともに、食育・健康教育を推進し生活習慣の形成を図ります。 老朽化した学校給食センターについて、交付金を活用して建て替えを行います。 ・大会参加補助金（小学校費・中学校費） ・運動部活動指導員配置事業 ・幼稚園体力向上巡回指導事業 ・給食センター改築事業 ・石井町地域スポーツ振興事業	実施					<R2取組内容と進捗状況> ・小学校、中学校とも新型コロナウイルス感染症対策のため大会参加がなく、大会参加補助金は交付していない。 ・石井中学校バスケットボール部及び高浦中学校卓球部に各1名の部活動指導員を配置し、顧問教員に代わり指導や引率等を行った。 ・町立3保育所、5幼稚園、5小学校の園児・児童を対象に、スポーツ指導員による巡回体育指導を6月～12月にわたり166日延べ258時間実施した。 ・新学校給食センターについて、建築が完了した。 <課題> ・体力の向上には、体育授業の「目標の提示」と「振り返り」の習慣化が大切であるが、石井町の小学校では「目標の提示」「振り返り」活動が少ない場面が見受けられる。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、継続して事業を実施する。	・体力向上はもちろん、基本的な生活習慣の確立を目指していく。 ・部活動指導員を配置し、部活動における技術指導の向上及び顧問教員のさらなる負担軽減を目指す。 ・新たに建築した学校給食センターについて、R3年4月から稼働する。	学教 給食セ 社教	B

基本目標 1 子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進

項目		主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価	
				R2	R3	R4	R5	R6					
② 教育の充実	1 子どもの教育環境の充実	4）特別な支援を要する子どもへの教育体制の充実 地域連携ファイルを活用し、支援が必要になった際に、幼稚園や小・中学校等において子どもの成長に対応した切れ目のない支援ができるよう、保護者、幼稚園教諭、学校職員、保健師等との連携強化を図ります。また、今後、学童保育等との連携も検討していきます。 学校教育全体で、一人ひとりに応じた教育を展開するとともに、特別な支援を要する子どものための教育を強化し、特別支援教育のための指導員の派遣を強化します。 ・放課後児童健全育成事業【再掲】 ・特別支援教育就学奨励費（小学校費・中学校費） ・特別支援教育支援員配置事業 ・特別支援連携事業 ・地域連携ファイルの配布		実施						<R2取組内容と進捗状況> ・特別支援教育支援員配置事業 幼稚園、小・中学校に特別支援教育支援員を配置し、支援を必要とする園児・児童・生徒に対して、教育活動上の日常生活の介助、学習活動上の様々なサポート（LDの園児、児童又は生徒に対する学習支援、ADHDの園児、児童又は生徒に対する安全確保など）等を行った。 ・特別支援教育就学奨励費（小学校費・中学校費） 教育の機会均等の趣旨に則り、かつ、障害のある児童・生徒の就学への特殊事情に鑑み、児童等の経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費の一部について補助を行った。 <課題> ・支援を要する園児・児童・生徒が増加傾向にあるが、県費による教職員の加配がない。このため、町において独自に支援員を雇用し、適宜、支援を行う体制を整える必要がある。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を実施する。	・特別支援を要する園児・児童・生徒への支援体制をさらに充実させるため、福祉・保健・医療等の関係機関との連携を密にし、支援を高めていく。 ・町独自での支援員の配置は今後も継続し、支援の環境整備に努めていく。	子育て学教	A
		【KPI】小学校を楽しいと思う児童の割合 91.7% (H30) → 90%以上 (R6)		計画値	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	・KPIである小学校を楽しいと思う児童の割合は91.9%で目標を達成している。今後も維持していく。	学教			
				実績値	91.9%								
				数値目標の達成度	◎								
		【KPI】学校管理下における熱中症の件数 1件 (H30) → 0件 (R6)		計画値	0件	0件	0件	0件	・KPIである学校管理下における熱中症の件数は0件で、目標を達成した。	学教			
				実績値	0件								
				数値目標の達成度	◎								
		【KPI】パソコン1台当たり児童生徒数 6人 (H30) → 1人 (R3)		計画値	5人	1人	1人	1人	・KPIであるパソコン1台あたり児童生徒数は3.9人で、目標を達成した。 <KPIの変更> ・GIGAスクール構想の導入により、1人1台端末を実現させるため、KPIを変更する。	学教			
				実績値	3.9人								
数値目標の達成度	◎												
【KPI】運動が好きな児童（小学校5年生）の割合 男子95.3%、女子88.9% (H30) → 男女とも国の平均以上 (R6)		計画値	男女とも全国平均以上	男女とも全国平均以上	男女とも全国平均以上	男女とも全国平均以上	・新型コロナウイルス感染症予防対策のため調査未実施。令和3年度は実施予定であるため目標を達成できるよう努める。	学教					
		実績値	－										
		数値目標の達成度	－										

基本目標 1 子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進

項目		主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R2	R3	R4	R5	R6				
② 教育の充実	2 相談体制の充実	1）不登校・ひきこもり等への対応の充実 不登校児童生徒を支援するための適応指導教室わかば学級の運営や、スクールカウンセラーの配置やスクールソーシャルワーカーの活用による相談体制の整備、担任教員等による家庭訪問等の実施を行います。 ・わかば学級運営事業 ・スクールカウンセラー報酬	実施					<R2取組内容と進捗状況> ・わかば学級に通学する生徒数：16人 ・不登校・ひきこもり等に関する相談件数：377件 <課題> ・家庭の環境・状況により、子どもに及ぼす影響があるため、中央女性こども相談センター等の専門機関と連携を図る必要がある。 （R2→R3戦略の改善見直し箇所） ・継続して事業を実施する。	・不登校・ひきこもりの児童生徒が抱える問題に対応するため、必要に応じ専門機関等と連携を取りながら、問題解決に向けた対応をしていく。	学教	A
		2）いじめ・校内暴力対策の充実 平成30年3月に策定した「石井町いじめ防止条例」に基づき、石井町いじめ防止等対策委員会において各学校と幼稚園についての現状報告、対応状況の報告等を行い、学校・家庭・地域・関係機関が強い連携のもと、いじめ防止の取組を推進します。 電話相談窓口のほか、学校だけでは解決できない問題に対し早期対応できるよう、石井町教育委員会内にスクールカウンセラーを配置します。 ・石井町いじめ防止等対策委員会 ・いじめ相談ダイヤル事業 ・青色回転灯搭載パトロール ・スクールカウンセラー報酬【再掲】	推進					<R2取組内容と進捗状況> ・いじめ等に関する個別相談 ・各学期始めに、各小学校の朝会で、カウンセラーの教育相談の周知やいじめについて等の講話を行った。 <課題> ・学校・家庭・地域や関係機関との連携に努め、全ての大人が一体となった取組が必要である。 （R2→R3戦略の改善見直し箇所） ・継続して事業を実施していく。	・いじめ問題に対応するため、学校・家庭・地域や関係機関との連携に努め、引き続き問題解決に向けた対応をしていく。	学教 社教	A
		【KPI】不登校児童生徒数（小学校・中学校） 19人（H30） → 0人（R6）	計画値	16人	12人	8人	4人	0人	・KPIである不登校児童生徒数（小学校・中学校）は12人で目標を達成した。問題を抱える児童・生徒への家庭訪問を3回実施した。家庭訪問を繰り返し実施することで、不登校の児童生徒数の減少を目指す。	学教	
			実績値	12人							
			数値目標の達成度	◎							
	【KPI】いじめ認知件数（小学校） 43件（H30） → 0件（R6）	計画値	32件	24件	16件	8件	0件	・KPIであるいじめ認知件数は22件で、目標を達成した。	学教		
		実績値	22件								
		数値目標の達成度	◎								
	3 特色ある教育の推進	1）町独自の教育の推進 外国人英語指導員による就学前児童への英語指導や、中学生が行う体験型英語教育施設での英語ネイティブインストラクター指導によるイベント体験を通して、外国の文化や考え方、価値観に触れ、多様性を認めることができる人材を育成します。 ・石井町子ども外国語活動支援事業 ・語学指導等を行う外国人青年招致事業 ・英語指導助手報酬	推進					<R2取組内容と進捗状況> ・ALT・外国語指導助手（以下、ALT等）による小中学生に対する授業時間数：1,653時間 ・ALT等による運動会などの学校行事の積極的な参加により、外国人や英語に触れる機会を提供している。 <課題> ・授業の中では英語を使用するが、学校での学習時間は限られている。いかに英語に触れあう機会を確保するかが課題である。 （R2→R3戦略の改善見直し箇所） ・継続して事業を実施する。	・ALT等による学校行事の積極的な参加を増やし、外国人や英語に触れる機会を提供していく。 ・特色ある教育を今後も引き続き提供していく。	学教	A
		2）地域の伝統・歴史等の教育の充実 町指定「高川原勇獅子」の伝統芸能継承活動に補助金を交付し、未指定の伝統芸能にも利用可能な補助金等の情報を提供することで、継承活動を支援します。また、高川原勇獅子保存会による獅子舞の定期公演の支援を通して、技術継承・後継者育成の機会を確保します。 社会科や総合の学習の時間等を活用し、本町の児童・生徒が地域の歴史・伝統・文化に触れ、郷土愛を育む教育を実施します。 ・高川原勇獅子保存会補助金	実施					<R2取組内容と進捗状況> ・高川原勇獅子保存会への補助金の交付によって町指定「高川原勇獅子」の伝統芸能継承活動の支援を行った。 <課題> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため高川原勇獅子保存会の活動が一部中止になった。 （R2→R3戦略の改善見直し箇所） ・継続して事業を実施する。	・継続して事業を実施することによって伝統芸能継承活動を引き続き支援し、本町の児童・生徒が地域の歴史・伝統・文化に触れ、郷土愛を育む環境を作っていく。	社教	A

基本目標 1 子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進

項目		主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
				R2	R3	R4	R5	R6				
② 教育の充実	3 特色ある教育の推進	【KPI】外国語指導助手により英語に興味・関心を持った小学生が多いと思う教師の割合 91% (H30) → 95%件 (R6)	計画値	91%	92%	93%	94%	95%	・ KPIである外国語指導助手により、英語に興味（関心）を持った小学生が多いと思う教師の割合は95%で、目標を達成した。		学教	
			実績値	95%								
			数値目標の達成度	◎								
③ 移住定住支援	1 住まいの確保	1）既存の住宅ストックによる住まいの確保 既存住宅及び空き家のリフォーム等工事に対する助成等により、住宅ストックの有効利用を推進することで、より安心して暮らせるまちを目指します。 ・ 空き家リフォーム助成事業補助金 ・ 住まいのリフォーム応援事業補助金	実施						<R2取組内容と進捗状況> ・ 石井町空き家リフォーム助成事業補助金：3件 ・ 石井町住まいのリフォーム応援事業補助金：19件 <課題> ・ 空き家リフォームについては、5件の申請枠に対して3件にとどまったため、効果的な制度の周知が必要。 〈R2→R3戦略の改善見直し箇所〉 ・ 事業を推進していくうえで、利用しやすい制度の検討を行い、要綱の改正を行った。	・ 空き家リフォームについて、申請数増加につながる効果的な制度の周知に努める。	建設	B
		2）増加する空き家への対策 石井町空家等対策協議会では、地域住民、学識経験者、金融及び土業等、多くの分野からの委員による会議を行っており、今後も継続して空き家対策の推進に向けた検討・協議に取り組みます。 空き家の発生や状況変化等の実態把握と、データベースの鮮度を維持するため、定期的な再調査を行うほか、自治会や自主防災組織など地域住民から空き家に関する情報を収集する仕組みを検討します。 老朽化し、危険な空き家については、計画的かつ積極的に補助事業に取り組み、危険な空き家を減らします。 ・ 空き家等対策事業 ・ 空き家判定士等活用事業 ・ 空き家再生等促進事業 ・ 石井町空家等対策協議会	実施						<R2取組内容と進捗状況> ・ 地域住民、学識経験者及び各種専門家等が参画する空家等対策協議会を開催し、空家等対策事業に関する検討・協議を行った。 協議会開催日：第1回 R2.11.4 第2回 R3.2.26 ・ 石井町空き家バンク・空き家の除却についての認知度向上のため、広報誌及び各種SNSを活用した広報を行った。空き家バンク登録物件数の拡充と、遊休農地の解消のためH31年1月に開始した「石井町空き家に付属した農地の下限面積（別段面積）取扱基準」の周知を行った。 ・ 空き家に関する問題を抱える所有者等に対し、解決へ向けてのアドバイスや適性管理・利活用の効果的な推進を図るため、徳島県住宅供給公社との共催で、「出張！空き家専門相談会（石井町）」を開催し、個別相談会を行った。 ・ R2.11.28 「出張！空き家相談会（石井町）」参加者 6名 ・ 倒壊の危険性が高く、また倒壊時において接面道路を閉塞する恐れのある危険な空き家（老朽危険空き家）の除却に対し、所有者の要した費用の1部を補助し、3件の除却を実施した。 <課題> ・ H28年度に実施した「空き家実態調査」における空き家データについて、住民から相談のあった空き家が空き家として把握できていない物件（新規空き家）であることが多くなったと感じる。管理不全の空き家増加を防ぐためにも、空き家情報の更新が必要と考える。 ・ 空き家バンク・除却ともに、相談件数は増加しているが、バンク登録に至った物件について、買い手を見つけるまでに関しても手続き・家財道具の整理等で、利活用できない問題も増えてきている。 〈R2→R3戦略の改善見直し箇所〉 ・ 継続して事業実施。	・ R3年度には、空き家等実態調査を町内全域に対して行う予定とし、前回調査との比較・新規空き家の特定等により、空家等対策計画の改定を行う。 ・ 徐々にではあるが、農地付き空き家についても相談を受けることが多くなり、本制度の認知も増えてきていると感じる。今後も、空き家コーディネーターとも連携して、情報共有を行うことで、空き家バンクの周知を行う。 ・ 引き続き、広報活動による周知に努める。	総務	B
	【KPI】中古住宅の活用件数 18件 (H30) → 80件 (R2～R6の累計)	計画値（累計）	16件	32件	48件	64件	80件	・ KPIである中古住宅の活用件数は19件で、計画値を達成した。		建設		
		実績値（累計）	19件									
		数値目標の達成度	◎									
	【KPI】空き家バンク登録件数 4件 (H30) → 20件 (R2～R6の累計)	計画値（累計）	4件	8件	12件	16件	20件	・ KPIである空き家バンク登録件数は8件であり、計画値を達成した。		総務		
		実績値（累計）	8件									
		数値目標の達成度	◎									

基本目標 1 子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進

項目		主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価				
			R2	R3	R4	R5	R6								
③ 移住定住支援	2 情報発信	1）移住・定住に関する情報発信と支援の充実 石井町移住交流支援センターにより、移住に関する相談窓口の一元化と移住に際して関係する機関との連携強化を図ります。 移住フェアによる本町のPR、移住支援施策の説明を行うとともに、県担当者や移住コンシェルジュとの連携を強化し、HPやパンフレット等を活用して移住希望者に向けた情報発信を行います。 都市圏から本町に移住し、就職や起業をした方に対する支援金を支給し、移住・定住の促進を図ります。 ・移住・定住推進事業 ・石井町移住交流支援センターの運営 ・移住支援金					実施					<R2取組内容と進捗状況> ・移住相談件数：15件（面談9件、電話6件） ・移住定住情報サイト及びパンフレットを更新した。 ・石井町移住交流支援センターにより、移住に関する相談を一元的に受けた。また、とくしま移住交流促進センターの職員の方と連携し移住相談・情報発信に取り組んだ。 <課題> ・新型コロナウイルス感染症のため、今まで参加していた移住相談会に参加できなくなった。新たな生活様式に対応した、移住相談及び相談会への参加が必要である。 ・東京23区在住・在勤者等が、本町へ転入した場合に最大100万円の移住支援金の助成の制度があるが、該当者がいない。 〈R2→R3戦略の改善見直し箇所〉 ・継続して事業を実施する。	・新型コロナウイルス感染症により、在宅でいながら仕事ができることが分かり、地方への移住を考える人が増えている。一方で、町担当者は、人が集まる移住フェア等への参加が難しくなった。オンラインや電話による移住相談体制を取るなど、情報を必要としている人に情報が届く仕組み作りが必要である。 ・移住支援金助成の要件を拡大した。周知・広報を行い制度の活用を促進する。	総務	B
		【KPI】移住相談件数 22件（H30） → 80件（R2～R6の累計）		計画値 （累計）	16件	32件	48件	64件	80件	・KPIである移住相談件数は15件であり、概ね計画値を達成した。	総務				
				実績値 （累計）	15件										
				数値目標の 達成度	○										

外部評価委員からの意見	
・校長先生の方が連携を取っていただき、運動会や様々な行事が連携しながら調整をいただいていることを実感します。子ども達はコロナの中でできる範囲でいろいろと工夫をして生活をしているように感じられ、逆にたくましくなったような印象を受けます。一方で、新1年生が少なくなっており、非常に危機感を感じています。 ・3人以上子どもがいる方を集めて、どうしてたくさんの子供を作ったか聞いてみてはどうでしょうか。こういう会では補助の話が進みますが、母親の意見があまり聞かれません。 ・各種情報発信を行うにあたり、いいアプリやインスタ等のSNSを使用していますが、アプリにクーポンが付いているなど、そのアプリをダウンロードしたことにより、商店で何%かの割引がある等のメリットがあればダウンロード数が伸びるのではないのでしょうか。 ・アプリやインスタ等も良いのですが、紙ベースの冊子も必要です。冊子だと、初めての方には総括として全体像が見えるので非常に重要です。両方とも推進をお願いします。 ・子育て世代包括支援センター「ひだまり」の相談ですが、以前は助産師だけでしたが、昨年度から保健師にも相談に入ってもらっています。助産師だけでは、2・3歳児になると対応が難しくなるので、保健師が入っていただけるのはありがたいです。 ・県の事業である在宅応援クーポン事業ですが、交付要件の一つの所得要件が意外と厳しいです。結婚年齢が高くなって子育てを始めたあるご夫婦の場合、昨年の所得が少し高かったために、本事業を受けることができませんでした。在宅育児応援なので、もっと幅広く利用ができるように、県に対し要望をお願いします。 ・この度、12回を迎えた本会議ですが、本会議を始めた頃は、石井町の事を町外の方に聞いても、知らない方が多く今一つ印象が薄い町という意見が多かったです。しかし、最近では、「石井町が新聞に出ていたね。」「石井町はいろいろと凄いな。」という話を聞くようになりました。教育面においても、「凄いな。」「いいね。」と聞くようになりました。最初、この会議は「石井町のファンを増やしましょう。」という事から始まりました。移住とはなかなかいきませんが、石井町のファンは確実に増えていると思います。教育面でより一層充実をしていただくために、机上の話だけでなく現場の話を聞いて、家庭と全ての子どもに関わる所が十分連携し、まずは子どものためにという事を共通理解の上で推進いただければ、より一層素敵な町になると思います。 ・概ね子育てについては進捗が良好です。そして徐々に石井町の特性を生かした政策が進行しつつあります。コロナの影響はあるが、各団体及び町の努力により比較的影響がなく進んでいます。	

基本目標2 暮らしやすい生活環境の形成

項目		主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
				R2	R3	R4	R5	R6				
① 地域基盤の整備	1 交通利便性の向上	1）幹線道路、都市計画道路の整備・充実 地域交通の円滑化、防災性の向上、歩行空間の確保等を図るため、年次計画に基づいて、町道の新設や拡幅等を行うとともに、歩道未設置部分の解消、部分的拡幅、隅切り等の改良、整備を行います。 都市計画道路石井南島線については、歩行者及び自転車の安全確保のため、引き続き国、県に早期全線改良を要望します。 社会資本整備総合交付金事業に指定された道路の早期完成に努めます。 ・ 県営事業負担金		実施					<R2取組内容と進捗状況> ・ 石井中学校及び名西高校の通学路であり、石井駅へのアクセス道路となる石井南島線が県の施工により改良中であり、国・県への整備要望を行った。 <課題> ・ 石井南島線は幅員が狭く自転車や歩行者の通行時に危険が伴うことから、早期改良が必要。 〈R2→R3戦略の改善見直し箇所〉 ・ 継続して事業を推進する。	・ 継続して国・県への整備要望を行い、都市計画道路石井南島線の改良事業を推進する。	建設	B
		2）地域内道路の整備・充実 地域交通の円滑化、防災性の向上、歩行空間の確保等を図るため、町道の新設や拡幅、歩道未設置部分の解消、橋梁の長寿命化等の整備を行います。 また、生活道路の拡幅改良に伴い、歩行者等の道路通行の安全性の確保に努めます。 ・ 町道新設改良事業 ・ 町道高川原33号線改良事業 ・ 生活道路改良事業 ・ 長寿命化対策事業 ・ 町道高原33号線改良事業 ・ 定期点検事業		実施					<R2取組内容と進捗状況> ・ 町道高原33号線改良事業では、用地交渉を行った。 ・ 町道高川原33号線改良事業では、護岸工、道路取合工、仮設工、道路付属物設置工を行った。 ・ 長寿命化対策事業では、上東橋の補修工事設計を行い、工事については、野神橋の補修工事を行った。 ・ 定期点検事業では、70橋について点検を行った。 <課題> ・ 橋梁補修工事について、町単独での施工が難しいため、道路メンテナンスの補助金を確保することが必要。 〈R2→R3戦略の改善見直し箇所〉 ・ 継続して事業を推進する。	・ 事業を継続し、着手している事業は早期の完成、新設改良が必要な道路についても早期着工を目指す。 ・ 橋梁の長寿命化についても、計画に基づき円滑に進める。 ・ 道路メンテナンス事業補助金を確保できるよう国・県等へ要望を強める。 ・ 生活道路の拡幅改良等を行い、道路通行の安全性を確保する。	建設	A
		【KPI】都市計画道路総延長距離 2.5km (H30) → 3.0km (R6)	計画値	2.6km	2.7km	2.8km	2.9km	3.0km	・ KPIである都市計画道路総延長距離は2.5kmで計画値に達しなかった。都市計画道路の一つである石井南島線（石井町役場東側道路）の改良が進んでおり、引き続き県に要望を行う。	建設		
			実績値	2.5km								
			数値目標の達成度	△								
		【KPI】町道改良済距離 137.4km (H30) → 140.0km (R6)	計画値	138.0km	138.5km	139.0km	139.5km	140.0km	・ KPIである町道改良済距離は135.3kmで目標に達しなかった。現在、町単独での事業実施は難しいため、国・県より補助を受け、事業実施ができるよう引き続き要望を行う。	建設		
			実績値	135.3km								
			数値目標の達成度	△								
	2 土地利用の明確化	1）区域区分の見直し 区域区分設定時に比べ幹線道路の整備が進んだこと等により、土地利用に変化が生じている箇所について、町のより一層の発展を目指した土地利用のあり方の検討を進めます。		検討					<R2取組内容と進捗状況> ・ H27年度に実施した区域区分の変更による影響が最も大きいと思われる市街化農地所有者459名への郵送による意識調査の結果（回答率36.4%）を踏まえ検討中である。 <課題> ・ アンケート結果では町民の意見が二分されている。個人財産への影響が大きいため、町として方向性を決めるための検討が必要である。 〈R2→R3戦略の改善見直し箇所〉 ・ なし	・ 町の発展を促すことができるように区域区分を検討していく。	建設	B
		【KPI】区域区分の見直し 検討 (H30) → 検討 (R6)	計画値	検討	検討	検討	検討	検討	・ KPIである区域区分の見直しを行う結論には至らなかった。今後の社会情勢の変化や住民の意向等を踏まえ、徳島県との協議のもと区域区分の維持、見直し等の方針を検討していく。	建設		
			実績値	検討								
			数値目標の達成度	△								

基本目標2 暮らしやすい生活環境の形成

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
② 安心・安全の確保	1 防災対策の推進	推進					<R2取組内容と進捗状況> ・木造住宅耐震診断件数：14件・木造住宅補強計画件数：9件 ・木造住宅耐震改修件数：7件 ・住まいのスマート化支援件数：1件 ・耐震シェルター設置支援件数：0件・住み替え支援件数：2件 ・家具転倒防止対策事業実施件数：3件 ・危険ブロック塀等安全対策支援件数：1件 ・石井町ブロック塀等安全対策支援件数：5件 ・民間建築物耐震化支援件数：8件 ・補助金等を活用し、避難所用の備蓄品や非常食を購入。また、新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金を活用し、避難所での感染のまん延を防止する地方創生のための資機材等を購入。感染症対策の強化に努めた。 <課題> ・危険なブロック塀の撤去や住宅の耐震化を推進するため、引き続き広報や啓発を行い、災害への備えと、町民の防災意識の向上に努める。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を推進する。	・現在の取組みを継続しながら、より災害に強いまちづくりのための施策を推進していく。	危機	A
		実施					<R2取組内容と進捗状況> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、町民参加の防災訓練は延期した。 ・災害応急対策を迅速に実施するため、職員参集訓練を実施した。職員の初動体制の確立や危機管理意識の向上を図った。 ・新たに石井町総合防災ハザードマップを作成し、町内全戸へ配布を行った。また、より手軽に幅広く活用してもらうことをねらいとして、WE B版ハザードマップも作成した。 <課題> ・今後は防災訓練実施時に十分な感染症対策を講じることが求められ、実施方法等について検討を進める必要がある。 ・ハザードマップを住民に周知し、いかに浸透させるかが課題である。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・実施方法を検討しながら、事業を継続していく	・ハザードマップについての広報、防災訓練の継続に努め、町民の防災意識の向上を図る。	危機	A
	【KPI】国・県に対する河川改修の要望を実施 継続（H30）→継続（R6）	計画値	継続	継続	継続	継続	・国・県に対し河川改修の要望は、継続して実施している。		建設	
		実績値	継続							
		数値目標の達成度	○							
	【KPI】災害時の非常食備蓄率（主食） 50%（H30）→50%（R6）	計画値	50%	50%	50%	50%	・KPIである災害時の非常食備蓄率（主食）については、50%で計画値を達成した。		危機	
		実績値	50%							
		数値目標の達成度	○							
	【KPI】防災訓練参加者延人数 1,032人（H30）→2,000人（R6）	計画値	1,200人	1,400人	1,600人	1,800人	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、R2年度は町民参加の避難訓練は延期し、職員の参集訓練のみ実施した。		危機	
		実績値	—							
		数値目標の達成度	—							

基本目標2 暮らしやすい生活環境の形成

項目		主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R2	R3	R4	R5	R6				
②安心・安全の確保	2 防犯対策の推進	1）防犯体制の充実 警察や名西地区防犯連合会、ボランティア団体等との連携のもと、「振り込み詐欺等から高齢者を守る」「高度情報通信ネットワークを利用した防犯被害の防止」「子ども、女性の安全確保」等の事業を推進します。また、地域の安全を守る会の会員数を確保することで、登下校時の見守り活動や、高齢者を対象とした防犯教室を実施し、防犯体制の充実を図ります。 ・名西地区防犯連合会負担金 ・地域の安全を守る会補助金	推進					<R2取組内容と進捗状況> ・ハガキやスマートフォンのショートメッセージサービスを利用し、振り込み詐欺等の防止に関する啓発を行った。 ・小学校の下校時間に防犯パトロールを実施した。 ・各学校等で防犯講習会を実施し、防犯意識の向上を図った。 <課題> ・地域の安全を守る会の会員の高齢化が進んでおり、会員数の確保が課題となっている。 〈R2→R3戦略の改善見直し箇所〉 ・継続して事業を実施する。	・警察や防犯連合会、ボランティア団体等との連携を強化し、防犯体制の充実を図る。	危機	A
		【KPI】地域の安全を守る会会員数 69人（H30） → 69人（R6）	計画値	69人	69人	69人	69人	69人	・KPIである地域の安全を守る会会員数は69人であり、計画値を達成した。	危機	
			実績値	69人							
			数値目標の達成度	○							
	3 保健・医療・福祉の充実	1）健康診査・訪問指導等の推進 特定健康診査や各種がん検診の受診勧奨を実施することにより、受診率の向上に努めます。また、特定健康診査結果から、糖尿病腎症重症化予防対象者に対して、個別訪問や保健指導等を行うことで重症化予防を図るとともに、検診費用の補助や医療機関との連携を強化することで、町民の健康の維持・増進を図ります。 ・健康診査費									

基本目標2 暮らしやすい生活環境の形成

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
② 安心・安全の確保	3 保健・医療・福祉の充実									
	2) 予防接種の接種機会拡充 定期予防接種について接種勧奨及び安全に接種できる環境整備に努めます。風しんの蔓延防止に向けて、対象者へクーポンを発行し、検査及び定期接種を実施します。 乳幼児健診個別相談時、未接種の予防接種について接種勧奨を実施し、感染予防の普及啓発に努めます。 各種予防接種の対象者に対しリーフレットやホームページを活用し周知広報を行い、実施医療機関と連携することでスムーズに受けられるような体制づくりを推進します。 ・各種定期予防接種（個別接種）の実施 ・結核予防事業 ・風しんの抗体検査及び予防接種のクーポン券配布 ・新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施 ・ロタウイルス感染症の定期予防接種の実施	実施					<R2取組内容と進捗状況> ・ロタウイルス感染症の定期接種化 ・定期インフルエンザ予防接種及び季節性インフルエンザ予防接種（生後6か月～満18歳まで）の無料化。 ・こんにちわ赤ちゃん事業での訪問時や1歳半、3歳児健康診査時の定期予防接種受診勧奨を行った。 <課題> ・保護者や接種対象者に対する正確かつ分かりやすい説明及び周知を行い、接種率向上に取り組む。 ・健診の場や医療機関等を活用し定期予防接種の受診勧奨を継続して実施する。 ・新たな予防接種が追加となった場合は、速やかな周知を行う。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を推進していく。	・定期予防接種及び臨時接種（新型コロナウイルス感染症に係る予防接種）について、対象者に対し正確かつわかりやすい情報を提供する。また委託医療機関と連携を行いながら円滑に実施をしていく。	健増	A
	3) 介護予防・介護サービスの充実 「いきいき百歳体操」を実施している団体等に対し、理学療法士を派遣し、効果的な体操が実施できるよう支援します。「石井町藤クラブ」（老人クラブ）が、いきいき百歳体操を開催する場合、公民館等の使用料を無料としています。また、石井町藤クラブ体育大会、健康づくり講習会の開催支援等を通して、高齢者の生きがいや健康の維持・増進を図ります。 安定して介護サービスを提供することができ、一人ひとりの状態に対応した支援が行えるよう、介護人材の育成・確保に向けて、徳島県が行っている各種介護研修の周知を図ります。 ・介護予防・生活支援サービス事業 ・包括的支援事業 ・いきいき百歳体操 ・石井町あるでないで会議 ・地域ケア会議推進事業 ・老人クラブ活動等事業	実施					<R2取組内容と進捗状況> ・高齢者の自立を妨げている課題等について事例を通して多職種により検討を行う「地域ケア会議推進事業（自立支援ケア会議）」を1回実施した。 ・効果的な体操の普及のため行っている「いきいき百歳体操理学療法士派遣」はコロナ禍の影響で実施することができなかった。 <課題> ・自立支援ケア会議は回数が減少し、いきいき百歳体操の理学療法士派遣は実施できなかった。コロナの影響で高齢者は外出が減り、介護予防はより重要である。そのため実施できる支援方法を工夫する必要がある。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・介護予防のより一層の推進を目指す。	・自立支援ケア会議をできる限り開催し、多職種での連携を深めるとともに対象者の自立を目指し、ケアマネージャーのスキルアップを図る。 ・コロナ禍でもいきいき百歳体操等の介護予防を推進するため、DVDやCATV等を活用する。	長寿	B
	4) 認知症高齢者に対する支援 認知症高齢者が尊厳を保ちながら安心して地域で暮らし、家族も安心して社会生活を営めるよう、かかりつけ医や関係医療機関等と連携し、認知症の早期発見・早期対応を図るとともに、認知症サポーターを養成し、認知症への正しい知識の普及を推進します。 ・認知症初期集中支援推進事業 ・認知症地域支援ケア・向上事業（認知症サポーター養成）	推進					<R2取組内容と進捗状況> ・認知症高齢者がよりよい環境で暮らし続けられるために、医療・介護の専門職による初期集中支援チームを配置し、「認知症初期集中支援推進事業」を実施した。（実績：1件） ・認知症の正しい知識の普及のため認知症サポーター養成講座を実施した。（実績：修了者8人） <課題> ・認知症を疑う高齢者がいても認知症初期集中支援推進事業として関わるまで至らない場合がある。認知症高齢者が早期に必要な支援受けられるよう、事業の啓発を強化する。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・認知症高齢者への早期支援を目指す。	・認知症高齢者を早期に発見し、必要に応じて認知症初期集中支援推進事業につなげ支援を行う。 ・認知症サポーター養成講座を開催し、認知症への正しい知識の普及を推進する。	長寿	B
	5) 障がい者とその家族への相談体制の充実 本人や家族への一次的窓口機能とともに、保健・医療・福祉に関するサービスの実施や専門機関への紹介等の機能を備え、障がいの種別や年齢を問わず利用できる総合相談体制の充実を図ります。 障がい者の家族の高齢化等により、支援を受けることが困難となった場合に対応できるよう「地域生活支援拠点」の設置を目指すとともに、障がい者の権利が守られるよう、成年後見制度の周知と利用促進を図ります。 ・相談支援事業 ・基幹相談支援センター事業 ・成年後見制度利用支援事業	実施					<R2取組内容と進捗状況> ・相談支援事業を委託することにより、障がい特性に応じた相談支援体制を整え、障がい者等からの相談に応じ、情報提供や助言、障害福祉サービスの利用支援を実施した。 ・基幹相談支援センターにおいて、困難事例への対応や人材育成のための研修を実施した。 <課題> ・障がい者本人や家族の高齢化を見据え、緊急時の受入れや対応ができる体制づくりが必要である。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・継続して相談支援体制の充実を図る。	・基幹相談支援センターを中心に、関係機関と連携を図り、多岐にわたる相談に対応できるよう支援体制の充実を図る。	福祉	A

基本目標2 暮らしやすい生活環境の形成

項目	主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R2	R3	R4	R5	R6				
②安心・安全の確保	3保健・医療・福祉の充実	【KPI】各種がん検診受診率 乳がん18.5%、胃がん13.1%、肺がん17.4%、大腸がん15.2%、子宮頸がん33.8%、前立腺がん21.5%（H30） → 増加（R6）	計画値	増加	増加	増加	増加	増加	・ KPIである各種がん検診受診率は、すべてのがん検診において受診率が低下し、計画値を達成できなかった。	健増	
			実績値	乳16.9% 胃6.1% 肺7.2% 大12.3% 子33.5% 前18.8%							
			数値目標の達成度	△							
		【KPI】特定健康診査受診率 39.4%（H30） → 増加（R6）	計画値	増加	増加	増加	増加	増加	・ KPIである特定健康診査受診率は新型コロナウイルス感染症流行のため、受診控えにより低下し、計画値を達成できなかった。	健増	
			実績値	38.1%							
			数値目標の達成度	△							
		【KPI】メタボリックシンドローム該当者及び予備軍 該当者24.0%、予備軍12.1%（H30） → 該当者：減少、予備軍：減少（R6）	計画値	減少	減少	減少	減少	減少	・ KPIであるメタボリックシンドローム該当者の割合は増加し計画値を達成できなかったが、予備軍の割合は減少し計画値を達成した。	健増	
			実績値	該当者：24.9%、 予備軍：11.2%							
			数値目標の達成度	△							
		【KPI】いきいき百歳体操実施団体数 18団体（H30） → 30団体（R6）	計画値	22団体	24団体	26団体	28団体	30団体	・ KPIであるいきいき百歳体操実施団体数は20団体であり、概ね計画値を達成した。	長寿	
			実績値	20団体							
			数値目標の達成度	○							
		【KPI】石井町藤クラブ体育大会参加者数 500人（H30） → 525人（R6）	計画値	505人	510人	515人	520人	525人	・ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のためウォーキング大会に変更し実施した。今後については、新型コロナウイルス感染症の動向が不透明であるため、感染拡大状況を注視しながら開催の可否を判断する。	長寿	
			実績値	204人							
			数値目標の達成度	△							
		【KPI】認知症サポーター数 1,472人（H30） → 2,000人（R6）	計画値	1,600人	1,700人	1,800人	1,900人	2,000人	・ KPIである認知症サポーター数は1,551人であり、概ね計画値を達成した。	長寿	
			実績値	1,551人							
			数値目標の達成度	○							
		【KPI】障がい者相談延件数 4,842件（H30） → 8,000件（R6）	計画値	5,200件	5,900件	6,600件	7,300件	8,000件	・ KPIである障がい者相談延件数は7,370件で計画値を達成した。	福祉	
			実績値	7,370件							
			数値目標の達成度	◎							

基本目標2 暮らしやすい生活環境の形成

項目		主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
				R2	R3	R4	R5	R6				
③ 地域コミュニティの形成	1 地域活動の運営支援	1）高齢者の生きがいの創出 高齢者が生きがいをもって暮らせるよう、様々なニーズに対応した生涯学習の充実や閉じこもり予防のための社会参加の促進等により、地域に主体的に関わり社会参加することを通して、幅広いコミュニティ活動の活性化を図ります。 ・バス輸送の充実 ・高齢者外出支援事業 ・老人クラブ活動等事業【再掲】		実施					<R2取組内容と進捗状況> ・老人クラブ単組数…33クラブ ・R2高齢者外出支援事業使用件数 タクシー6,751件 バス1,847件 <課題> ・高齢者数は年々増加しているが、老人クラブ加入者数は近年減少傾向にある。 ・閉じこもり予防や社会参加の促進等のため高齢者が地域に関われる社会づくりが必要となる。 ・バス・タクシーチケットを交付された方の一部で、使い惜しみ等で使用期限内に使い切れないケースが発生している。 〈R2→R3戦略の改善見直し箇所〉 ・スポーツ活動やサロン活動を促進することで、老人クラブの活性化を目指す。 ・高齢者外出支援事業の1回あたり使用枚数の上限を拡大（2枚→3枚）	・高齢者外出支援事業を普及するため対象者に対し幅広く広報を行い対象者の掘り起こしを行う。 ・バス・タクシーチケットを組み合わせて使用する手法等のPRを行い、交付者には積極的にチケットを使用してもらえるよう広報を行う。 ・老人クラブは、町の連合会や各地区単位において、会員全員で取り組む活動に重心を置いているが、生活圏に近い単位クラブのサロン活動等にも力を入れていく。	総務 長寿	B
		【KPI】 藤クラブ大学の加入者数 500人（H30） → 525人（R6）	計画値	505人	510人	515人	520人	525人	・令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため石井CATVで放送したため加入者数が分からない。令和3年度についても引続き石井CATVで放送する。新型コロナウイルス感染症拡大収束後は、従来の講座形式を予定している。	長寿		
			実績値	－								
	数値目標の達成度		－									
	【KPI】 ボランティア連絡協議会加入団体数 63団体（H30） → 64団体（R6）	計画値	63団体	63団体	63団体	63団体	64団体	・KPIであるボランティア連絡協議会加入団体数は62団体であり、概ね計画値を達成した。	福祉			
		実績値	62団体									
		数値目標の達成度	○									
	2 時代に合ったコミュニティの形成	1）自主防災組織 地域防災交流センターを拠点に、学習会・防災講座等を開催して自主防災組織の育成と交流を行います。自主防災組織連絡協議会や防災士会等と協調し、未組織地域の組織化に取り組むとともに、引き続き各地区の自主防災組織で講座等を実施し、防災意識の高揚と災害への備えについて啓発します。 ・自主防災組織連絡協議会 ・石井町防災士会補助金		実施					<R2取組内容と進捗状況> ・防災士会主催の防災講座開催回数：2回 20名 ・自主防災会主催のAEDの取扱いを含む普通救命講習：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止。 <課題> ・人の入れ替わりの激しいマンション等、新たに引っ越してきた住民の自主防災組織への加入が進んでいない。 ・高齢化により、役員のなり手がいない。 〈R2→R3戦略の改善見直し箇所〉 ・自主防災連絡会等を通じて、地区ごとに抱える課題を把握し防災啓発活動を行う。 ・地域防災推進員養成講座等を活用し、指導者の育成を図る。 ・チラシ等を配布して、未加入世帯への働きかけを行う。	・自主防災組織の充実強化に努め、石井町防災士会と連携しながら、共助力の向上を目指す。	危機	B

基本目標2 暮らしやすい生活環境の形成

項目		主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R2	R3	R4	R5	R6				
③地域コミュニティの形成	2時代に合ったコミュニティの形成	2) 子育てサークル活動の支援 核家族化、地域のつながりの希薄化により子育ての負担や不安、孤立感などがある中、安心して子育てができるよう地域で子育てを目指し、子育てサークルの活動支援を行うとともに、ボランティア活動や住民の自主的な活動の育成・支援により、地域ぐるみで子育てを考え、サポートできるような取組を進めます。 ・子育てサークルの支援	実施					<R2取組内容と進捗状況> ・令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため、従来行ってきた活動が十分行えないこともあったが、ICTを活用するなどの工夫をしながら、地域で支え合う子育て力向上に取り組んだ。 <課題> ・コロナ禍の中、子育ての状況も変化していることを把握し、家庭とのコミュニケーションを考え取り組みを行っていく必要がある。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・さまざまなツールを使用し、子育てにおける情報発信を行い、地域ぐるみで子育てを継続していく。	・地域の子育てサークルの育成、活動支援を行い、子育て中の親同士が交流し情報交換を行うなど、自主的に活発な活動ができるように努めていく。	子育て	A
		3) 生涯学習の機会・環境の整備 魅力ある多様な生涯学習の機会を提供するとともに、公民館利用者が実施している講座一覧をまとめ、各種媒体を通して情報の提供に努めます。また、地域で生涯学習活動を実施している各種団体へ必要に応じて補助金を交付し、活動を支援します。 ・中央公民館講座等文化講演事業 ・豊かな人間性を育む地域活動推進事業 ・社会教育活動支援のための補助金	実施					<R2取組内容と進捗状況> ・新型コロナウイルス感染予防対策のため、中央公民館講座等文化講演事業および豊かな人間性を育む地域活動推進事業が中止となった。 <課題> ・新型コロナウイルス感染予防対策を行い事業実施を進める必要がある。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> 継続して事業を実施する。	・令和3年度以降は、新型コロナウイルス感染予防を考慮しつつ、参加人数を縮小するなどし事業実施を図る。	社教	A
		4) 高齢者サロン支援 高齢者が自由に集い、参加者同士の交流を通して、人とのつながりや仲間をつくるきっかけとなる場所を提供し、高齢者の閉じこもり防止、介護予防に努めます。 ・高齢者サロン運営支援	実施					<R2取組内容と進捗状況> ・新たなサロンの運営支援は行っていないが、既存のサロンには生活支援コーディネーターが全数支援を実施した。 <課題> ・新型コロナウイルス感染拡大の危惧があるため集団での活動が制限されている。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・感染予防の徹底、また、新しい生活様式を実践しながら事業を継続していく。	・生活支援コーディネーターの活動を継続する。	長寿	B
		【KPI】 自主防災組織の組織率 87.6% (H30) → 90.0% (R6)	計画値	88.0%	88.5%	89.0%	89.5%	90.0%	・KPIである自主防災組織率は87.3%で、概ね計画値を達成した。さらに幅広く学習会の開催等自主防災組織の育成と活性化を図り、組織率の向上を目指す。	危機	
			実績値	87.3%							
			数値目標の達成度	○							

外部評価委員からの意見

・石井町は高齢者率が33%を超えており、毎年独居老人が増えています。民生委員は独居老人の見回りを行っています。現在は57名で見回りをしていますが、中には1人で30名を超えて受け持ちをされている方もいます。毎日1名ずつ回っても回り切れません。できることなら民生委員のサブを増やしてください。 ・石井町藤クラブ体育大会のところで、「新型コロナウイルス感染症収束後は従来どおり」となっています。コロナだから中止にするというイベントは多いです。どうしたらイベントができるのか、どう対応をしたらできるのか、という事を検討する必要があると思います。特に高齢者の方は、筋肉量が非常に大事です。家に閉じこもってしまうと、例えコロナにかからなくても体力が落ち寝たきりの高齢者が増えてしまいます。 ・暮らしやすい生活環境の形成について、地域の実情に応じたきめ細かい施策が徐々に浸透しています。今後もきめ細かい政策を続けてください。
--

基本目標 3 産業の振興と雇用の場の創出

項目		主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R2	R3	R4	R5	R6				
① 新産業の創出	1 企業誘致	1）企業誘致の推進 地方拠点強化税制を活用し、既存企業及び大都市から本社機能の移転・拡充等による本町への企業誘致を推進します。 また、町独自の優遇制度や徳島県の優遇制度を活用できるよう関係機関と連携し、企業が進出しやすい環境を整備します。	推進					<R2取組内容と進捗状況> ・現在石井町は、徳島県の地域再生計画（計画名称：「とくしま回帰」新たなしごとづくり計画）により、本町全域が移転型地域、用途地域の工業地域、商業地域、準商業地域、第1種住居地域、第2種住居地域、第2種中高層住居地域に農業六次産業化の拠点として 新たに追加られた県立農業大学校跡地及び徳島県農林水産総合技術 支援センターに隣接する区域部分が拡充型地域として指定されており、町外からの企業等が進出する際に税制等の優遇措置が受けられ やすい環境を整えている。また、立地企業の業種についても平成29年7月の法改正により幅広い業種への固定資産税等の支援措置が可能となった。 ・県外企業等への町長のトップセールスのほか、徳島県企業支援 課、町内の金融機関（四国銀行、阿波銀行及び徳島大正銀行）と連携し、企業への情報発信と相談への対応をおこなった。 <課題> ・以前から町として企業誘致を目的とした用地を確保しておらず、町内の土地の多くは耕作地であるため、進出を計画する企業は、地権者からの用地買収や土地造成等を全て最初から行わなければならないため、時間とコストの面からも敬遠される傾向にある。 ・都市部の企業の多くは、そもそも石井町が存在すら知らないため、進出計画の候補地のテーブルにすら上がりづらい。現在外部への情報発信手段が徳島県の企業誘致支援サイト及び町内金融機関のネットワークとなっているため、これらを積極的に活用し情報発信 力を高めることが課題である。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を推進していく。	・企業跡地や一定の面積規模を有し、開発要件を満たすことで、用地となり得る休耕地等の情報を地権者から事前に収集しておき、立地を検討している企業に情報提供するなど、企業が立地しやすい環境を整える。 ・従来までの企業誘致に向けた取組に加え、県外企業への「石井町」の情報発信に一層努める。	産経	B
		【KPI】 新規企業の誘致件数 0件（H30） → 1件（R2～R6の累計）	計画値（累計）	→	→	→	→	1件	・KPIである新規企業の誘致数は、0件で計画値に達しなかった誘致が進んでいる事業者もある。石井町は認知度が低いこともあり、立地に関する相談はありますが、成立せず、情報発信の努力が必要である。	産経	
			実績値（累計）	0件							
	数値目標の達成度		△								
	2 創業・起業支援	1）創業・起業支援の推進 石井町商工会をはじめとする創業支援事業者と連携し、セミナー・研修会等の開催、アドバイザーの派遣、「ワンストップ相談窓口」の設置等により、地域特性を活かした産業開発や起業の支援を行います。また、徳島県東部定住自立圏で実施するコミュニティビジネスの起業を目指す人を対象としたセミナーの活用を進め、地域産業の活性化を図ります。 ・石井町商工会運営事業補助金 ・コミュニティビジネス起業支援事業負担金 ・創業促進事業補助金	推進				<R2取組内容と進捗状況> ・石井町商工会の創業支援チームによる相談会等を実施 ・創業支援セミナーの開催（石井町商工会）：参加者15名 ・女性起業塾の開催（徳島県）：参加者4名 ・イブニングセミナーの開催（徳島ニュービジネス協議会）：参加者0名 <課題> ・セミナーや相談を受けてもなかなか実際の創業には繋がらないため、関係機関と一体となり継続した支援が必要である。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・H29年度から実施している石井町創業促進事業補助金も含め、広報を強化しながら継続して事業を推進していく。	・石井町創業促進事業補助金の周知を行いつつ、石井町創業支援等事業計画の「特定創業支援等事業」を受けた際に受けられる支援等の広報を強化し、事業を継続していく。	産経	A	
【KPI】 創業者数 3人（H30） → 10人（R2～R6の累計）			計画値（累計）	2人	4人	6人	8人	10人	・KPIである創業者数は3人であり、計画値を達成した。	産経	
			実績値（累計）	3人							
	数値目標の達成度	◎									

基本目標 3 産業の振興と雇用の場の創出

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
② 地域産業力の強化	1 農業の振興									
	1) 優良農地の確保と活用 農業経営基盤強化促進法及び徳島県農地中間管理機構を活用して優良農地の集積・農地流動化の推進を行い優良農地の整備・確保を推進します。 「人・農地プラン」の実質化に取り組み、地域の再活性を図ります。 - 農地中間管理事業 - 機構集積協力金交付事業 - 耕作放棄地対策事業	推進					<R2取組内容と進捗状況> - 機構集積協力金交付事業：1名 - 本町の農地の集積・集約化の促進及び農業振興に資することを目的に、農地中間管理事業による農地の集積・集約化に協力する農業者等に対し、機構集積協力金を交付する。 - 後継者の有無等を見る化した地図を作成し、それを基に今後地域の中心となる経営体への農地の集約化に関する将来方針について話し合いを行い、実質化された人・農地プランを作成した。 - 耕作放棄地の所有者（212人）に対し利用意向調査を行い、耕作放棄地の解消に取り組んだ。 <課題> - 農地が将来にわたり継続して耕作されることは、農業後継者を育て、地域の景観を守るためにも極めて重要である。 （R2→R3戦略の改善見直し箇所） - 継続して事業を推進していく。	- 農地中間管理事業により、農用地の利用効率化などを促進し、農業経営の規模拡大、集団化及び新規参入の促進を図る。 - 農地の集積・集約化に協力する農業者等に対し、機構集積協力金の支援を行う。 - 農地利用意向調査にて取りまとめた意向を元に農業委員・農地利用最適化推進委員と共に農地利用の集積・集約化へ結び付ける。	産経	B
	2) 農業経営の規模拡大 農業用機器の導入支援や、農業経営基盤強化資金の活用等により、農業力の強化や規模拡大の支援を行います。 - 融資主体補助型経営体育成支援事業補助金 - 農山漁村未来創造事業補助金	実施					<R2取組内容と進捗状況> - 融資主体補助型経営体育成支援事業補助金：0件 - 農業用機械・施設の導入支援や、農業経営基盤強化資金の活用等により、地域の中心経営体に対し、農業力の経営強化を図る支援を行った。 - 高収益作物時期作支援交付金：80件 - 新型コロナウイルス感染症の発生により売上げが減少する等の影響を受けた高収益作物（野菜・花き・果樹・茶）について、次期作に前向きに取り組む生産者に対し助成した。 <課題> - 効果的な広報が必要 （R2→R3戦略の改善見直し箇所） - 継続して事業を実施していく。	農業経営規模の拡大や、農産物の加工、流通、販売等の多角化等に取り組む際に必要となる農業用機械等の導入支援をしていく。	産経	B
	3) 特産品の開発 地域ブランドの育成による農業の活性化を図るため、本町の特性を活かした新しい農産物や加工品の開発等の意欲的な取組を支援します。 - 石井町特産品開発チャレンジ事業 - 藤色野菜販路開拓事業補助金 - 農山漁村未来創造事業補助金【再掲】 - 石井町農産物ブランド化推進支援事業	実施					<R2取組内容と進捗状況> - 藤色野菜販路開拓事業補助金を活用し、藤色野菜の種苗代の補助を行った。県外での商談や販売促進イベントを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の発生により中止した。 - JA名西郡が、露地ほうれんそう調整作業の分業化の実証実験等を実施した。 <課題> - 効果的な広報が必要 （R2→R3戦略の改善見直し箇所） - 継続して事業を実施していく。	農業経営規模の拡大や、農産物の加工、流通、販売等の多角化等に取り組む際に必要となる農業用機械等の導入支援をしていく。	産経	B
	4) 「農」を中心とした産業集積の検討 徳島大学生物資源産業学部（石井農場）、徳島県立農林水産総合技術支援センターといった農業に関連の深い「官」「学」の拠点が立地する本町の個性を活かせるよう、関係機関と連携体制を構築し、「農」を中心とした産業集積の検討を進めます。 「徳大連携」学生地域活動支援事業補助金 - 石井町特産品開発チャレンジ事業【再掲】 - 藤色野菜販路開拓事業補助金【再掲】 - 産地収益力の強化に向けた総合的推進事業補助金 - 石井町農産物ブランド化推進支援事業【再掲】	実施					<R2取組内容と進捗状況> - 徳島大学生物資源産業学部アグリクラブによる地域活動を実施したが、新型コロナウイルス感染症の発生により、農祭祭や石井町農産物品評会が中止となり、活動を縮小せざるを得なかった。 - 徳島大学生物資源産業学部農場で生産されたハムを石井町のふるさと納税の返礼品とした。 <課題> - 関係機関と連携強化をしていく。 （R2→R3戦略の改善見直し箇所） - 継続して事業を実施していく。	- 産官学の連携を強化し農業集積や6次産業化に向けた取り組みを継続する。 「おいしいの藤やさい」は、主力の紫カリフラワーの販路を拡大するとともに、その他の藤色野菜についても藤やさいと認定し、JA名西郡や取扱店舗と連携し、生産者・作付面積を増やしていく。	産経	B

基本目標3 産業の振興と雇用の場の創出

項目		主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
				R2	R3	R4	R5	R6				
② 地域産業力の強化	1 農業の振興	【KPI】 農地中間管理機構を利用し集約化した農地面積 12.6ha（H27～H30の累計） → 15ha（R2～R6の累計）	計画値（累計）	3ha	6ha	9ha	12ha	15ha	・ KPIである農地中間管理機構を利用した集約化した農地面積は1.4haで、計画値に達しなかった。		産経	
			実績値（累計）	1.4ha								
			数値目標の達成度	△								
		【KPI】 「農」に関する産業の集積件数 2件（H27～H30の累計） → 1件（R2～R6の累計）	計画値（累計）	→	→	→	→	1件	・ KPIである「農」に関する産業の集積件数は、0件であったが、今後も継続して事業を進めていく。		産経	
			実績値（累計）	0件								
			数値目標の達成度	△								
		【KPI】 農地に再生された荒廃農地の面積 14.8ha（H27～H30の累計） → 18.5ha（R2～R6の累計）	計画値	3.7ha	7.4ha	11.1ha	14.8ha	18.5ha	・ KPIである農地に再生された荒廃農地の面積は、5.7haで計画を達成した。		農委	
			実績値	5.7ha								
			数値目標の達成度	◎								
	2 地域産品の販路拡大	1）町内企業の販路拡大 石井町商工会等と連携し、町内企業の市場調査や新規需要の開拓を支援するとともに、ITの活用やイベント開催による販路拡大を図ります。 ・ 石井町商工会運営事業補助金【再掲】	実施						<R2取組内容と進捗状況> ・ ふじっこちゃんわくわく土曜市開催回数：4回 出展事業者： 38 事業者（延べ） ・ 関西・関東にて石井町商工会による物産展・商談会を開催（関西 1回、関東1 回） ・ 県内イベントに参加し地場産品等のPR販売を実施（1回） ・ 桜まつり、藤まつりの開催により観光事業を実施（4月・5月） ・ お・いしいマルシェ開催（延べ57店舗）・お・いしいグルメラリー開催（参加店24店舗）・カレー街道めぐり（加盟店10店舗）・華麗（カレー）なる石井プロジェクト：マッチングバイヤーズルーム特別賞受賞、カレー・オブ・ザ・イヤー2021ご当地レトルトカレー部門受賞 〈新型コロナ対応！地域活性化応援事業〉 ・ お・いしいお持ち帰り事業（加盟店26店舗） ・ お・いしい玉手箱便事業（カタログギフト）51事業者（延べ） <課題> ・ 廃業等により地元店舗が減少してきている。消費の地域内（石井町内）循環の促進が不可欠。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・ 地域内消費への理解や協力を広報などを通じて丁寧に説明し利用促進を図る。	・ コロナ禍の中、各業種別感染症対策ガイドラインを遵守し、イベントの開催や商品・サービスの提供方法など工夫しながら経営を持続していく。	産経	A
2）地域経済の維持・活性化 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内事業者への支援を行うとともに、当該感染症収束後の地域経済の再生・活性化に向け地域内における消費活動の促進を行い、町内事業者の事業継続の支援に取り組めます。 ・ 地域経済応援事業 ・ ふじっこちゃん宝くじ141事業補助金		-						<R2取組内容と進捗状況> ・ 地域経済応援事業 町内の事業所で使用することができる、プレミアム付き商品券を発行し町内の活性化・住民の生活支援を行った。 プレミアム分3千円×18,000セット（加盟店113店舗） ・ ふじっこちゃん宝くじ141事業補助金（加盟店112 店舗） 町内の事業所で消費した方に景品が当たる宝くじ抽選券を配布することで、コロナ禍の中、消費が落ち込んだ、町内事業者等の地域経済の活性化を図った。 <課題> ・ 財源に臨時交付金を充てている。事業費が大きいため、町単独事業として実施するのは難しい。	・ 財源に臨時交付金を充てている。国による経済対策の状況等、また、当該感染症の拡大状況を鑑み、事業の継続の検討が必要である。	産経	A	

基本目標3 産業の振興と雇用の場の創出

項目		主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R2	R3	R4	R5	R6				
② 地域産業力の強化	2 地域産品の販路拡大	3) 農産物の販路拡大 農業生産グループ等の町内外イベント出店による直販体制の拡充や、徳島東部地域の連携による地域特産物のブランド化や地産地消の推進により、農産物の販路拡大を図ります。 ・農業祭事業 ・藤色野菜販売販路開拓事業補助金【再掲】 ・石井町農産物ブランド化推進支援事業【再掲】	実施					<R2取組内容と進捗状況> ・藤色野菜販路開拓事業補助金を活用し、JA名西郡が県外での藤やさいの試食販売及びの商談を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の発生ため、中止となった。県内のJA系統の産直や道の駅等と藤やさいの売り場獲得について交渉を行った。 <課題> ・継続して事業を新型コロナウイルス感染症の対策を行ったうえでイベント実施や、周知及び広報が必要。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・広報を強化しながら継続して事業を推進していく。	・新型コロナウイルス感染症の対策を徹底し、農業生産グループ等の町内外イベント出店による直販体制の拡充や、地産地消の推進により、農産物の販路拡大を図る。	産経	B
		【KPI】展示会・商談会への参加支援 14件（H27～H30の累計） → 15件（R2～R6の累計）	計画値（累計）	3件	6件	9件	12件	15件	・KPIである展示会・商談会への参加支援は4件で目標を達成した。	産経	
			実績値（累計）	4件							
			数値目標の達成度	◎							
		【KPI】農産物品評会延出品数 166点（H30） → 180点（R6）	計画値	169点	172点	175点	178点	180点	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、農産物品評会を中止したため、評価ができなかった。	産経	
			実績値	—							
			数値目標の達成度	—							
③ 観光・交流産業の振興	1 観光・交流拠点の整備	1) 四銀いしいドーム及び都市公園の整備 四銀いしいドームの各設備の入れ替えや補修・改修等を行い、快適に利用できる施設環境を整えます。また、安定的な運営に向けて適切な利用料を検討します。 住民の日常的な憩いの場・オープンスペースとして、近隣公園、ポケットパーク等の身近な憩いの場の整備を図ります。 ・都市公園管理費 ・都市公園整備費 ・都市公園長寿化対策事業 ・いしいドーム管理費 ・飯尾川公園いしいドーム指定管理料	実施					<R2取組内容と進捗状況> ・都市公園長寿化計画に基づき、池田児童公園総合遊具設置工事、原児童公園滑り台更新工事、前山公園スカイロープ修繕工事を行った。また、四銀いしいドーム空調機修繕工事、インターロッキング部排水工事を行った。 ・新型コロナウイルス感染症対策で、網戸及び飛沫防止パネルを設置し、エアバスター（脱臭・空気清浄機）を5台購入した。 ・また、経年劣化で使用出来なくなっていたエアロバイクを2台・保証期間の切れるAEDを1台更新した。 <課題> ・経年等による劣化が顕著な公園施設がある。町単独での施工が難しいため、都市公園安全・安心対策事業補助金を確保することが必要。 ・四銀いしいドームはウォーキングマシンを始め、数多くの備品・設備に経年劣化・故障等が目立つため、入れ替えが必要。 ・また、老若男女問わず多くの人が利用する施設であるため、より一層の新型コロナウイルス感染症対策が必要。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を推進する。	・緊急性の高い施設から修繕及び更新を進める。 ・今後進展する施設の老朽化に対する安全対策の強化及び将来の改築・更新に係るコストの縮減や標準化を図る。 ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、利用推進を行う ・老朽化した備品・設備（ウォーキングマシン・水着専用脱水機等）の入れ替えを行う。	建設 社教	B
		2) 文化財の保護 先人が大切に育んできた貴重な財産を守り、地域の歴史・文化を継承するため、「阿波国分尼寺跡」史跡整備等の文化財の整備を推進するとともに、文化財ウォーキングなど地域文化を活用したイベントの開催によりふるさとを愛する心の醸成と交流人口の拡大を推進します。 ・文化財保護活動事業 ・「阿波国分尼寺跡」史跡整備事業 ・埋蔵文化財発掘・保存事業	推進					<R2取組内容と進捗状況> ・ふる里の歴史を学ぶ会歴史講座（全8回）参加者数296人 ・文化財ウォーキング参加者数116人 ・田中家住宅農機具展示用整理 <課題> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止を講じたイベントのあり方が必要である。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・今年度は日本遺産のイベントとの兼ね合いで文化財ウォーキングは中止する予定である。	・文化財保護や整備を推進していくとともに、石井町文化財ボランティアと協力して、イベントの開催を行う。	社教	A

基本目標3 産業の振興と雇用の場の創出

項目		主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
				R2	R3	R4	R5	R6				
③ 観光・交流産業の振興	1 観光・交流拠点の整備	【KPI】 四銀いしドーム利用者延人数 186,138人（H30） → 190,000人（R6）	計画値	186,600人	187,200人	187,800人	188,400人	190,000人	・ KPIである利用者延べ人数について、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、実績は約7割であり、目標を達成できなかった。開館日数による1日平均利用者数も前年度601人から491人へと減少しており、新型コロナウイルス感染症予防での利用自粛が要因と考えられる。	社教		
			実績値	130,437人								
			数値目標の達成度	△								
	【KPI】 社会体育施設の利用者延人数 22,186人（H30） → 23,500人（R6）	計画値	22,300人	22,600人	22,900人	23,200人	23,500人	・ KPIである社会体育施設の利用者延人数は20,181人で概ね計画値を達成した。	社教			
		実績値	20,181人									
		数値目標の達成度	○									
	2 観光・交流資源の活用・創出	1）観光資源の活用 町の花である「藤」を観光資源として活用するとともに、毎年開催している「藤まつり」の魅力向上に努めます。また、「桜まつり」「石井町納涼夏祭り」「石井ウィンターイルミネーション」等、季節ごとにイベントを開催し、観光客の呼び込みや交流人口の拡大を図ります。 ICTやメディア、観光パンフレットの充実、ホームページの観光情報ページの充実等、情報発信の強化に取り組みます。 ・ 石井町商工会運営事業補助金（藤まつり事業、桜まつり事業、イルミネーション事業） ・ 石井町納涼夏祭り補助金 ・ 観光ガイドブック等作成事業	実施						<R2取組内容と進捗状況> ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により人が集まるようなイベントは中止となった。 ・ 桜まつり藤まつりは観賞のみとしたため、入込客数について不明である。 ・ 石井町納涼夏まつり：中止 ・ 石井ウィンターイルミネーション：中止 ・ 石井町観光ガイド、おいしい特産品ガイドブック、幸せの三寺めぐりウォーキングマップ等の観光パンフレット作成。 ・ アフターコロナに向け飲食店や観光スポットを巡ってもらい、石井町の商業の発展に繋げるため石井町観光グルメパンフレットを製作。掲載店舗や町内外に無料配布した。 <課題> ・ 新たな観光資源の発掘と効果的な周知が必要である。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・ 継続して事業を推進していく。	・ ICTやメディア等をうまく活用し、観光パンフレットの内容も充実させながら、継続して事業に取り組む	産経	B
		2）日本遺産「藍のふるさと阿波～日本中を染め上げた至高の青を訪ねて～」の活用 令和元年に日本遺産に認定された「藍のふるさと阿波～日本中を染め上げた至高の青を訪ねて～」を全国・世界へ発信するとともに、住民に対しても本町をはじめとする吉野川流域に根付く藍文化を学び、再発見できる機会の充実を図ります。 また、日本遺産の構成要素である「田中家住宅」や「武知家住宅」の所有者と良好な協力関係を維持し、文化財の保存と活用を推進します。 阿波藍の文化に触れることができる着地型観光商品を開発に取り組みます。 ・ 藍のふるさと阿波魅力発信協議会負担金 ・ 日本遺産活用整備事業 ・ 国指定「田中家住宅」保存事業補助金 ・ 国指定「武知家住宅」保存事業補助金	実施						<R2取組内容と進捗状況> ・ 「藍のふるさと阿波魅力発信協議会」の活動によって阿波藍の振興や魅力発信の取組を行った。 ・ 田中家住宅解説広場便益施設整備工事を行い、「田中家住宅」の観光施設としての整備を行った。 ・ 「田中家住宅」の維持管理のため、国・県に合わせ補助金を交付した。 ・ 「武知家住宅」の自動火災報知機及び消火器設置のため、国・県に合わせ補助金を交付した。 <課題> ・ 「武知家住宅」は平成30年に国指定を受けて間がないため、文化財として保存活用計画が策定されていない。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・ 「武知家住宅」の消火設備が整備されたので、地元消防団等と協議し、文化財防火訓練の実施を行う。	・ 「藍のふるさと阿波魅力発信協議会」の活動によって阿波藍の振興や魅力発信の取組を引き続き行う。 ・ 「田中家住宅」「武知家住宅」の維持管理のため、引き続き国・県に合わせ補助金を交付する。 ・ 「武知家住宅」の保存活用計画策定に向けて関係者と協議を進める。	社教	A
		3）スポーツを通じたレクリエーションイベントの開催 誰もが楽しく参加できるスポーツ教室等のイベント、各種スポーツ・レクリエーション団体の活動の成果発表等を目的とした大会を支援します。また、夏季巡回ラジオ体操や定期的なイベントを誘致することにより、スポーツを通じた町内外からの交流人口の拡大を推進します。 ・ 石井町親子サッカー教室運営事業補助金 ・ スポーツ教室運営事業 ・ 国体記念少年相撲大会運営事業補助金	推進						<R2取組内容と進捗状況> ・ 石井親子サッカー教室参加者：約110人 ・ スポーツ教室運営事業参加者：11,217人 ・ 国体記念少年相撲大会参加者：中止 <課題> ・ 子どもや高齢者を対象にしたスポーツ指導については充実させることができたが、若者や中高年や障がい者等を対象としたイベント等の拡充が必要である。 ・ 単発の講座や教室も多かったため、継続的な取組を行う。 ・ 新しい生活様式等新型コロナウイルス感染症対策が必要である。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・ 継続して事業を推進する。	・ 既存の事業の発展や新型コロナウイルス感染症の対策に加え、住民のニーズに応じた新規事業を企画する。また、広報等についても取り組む。	社教	B

基本目標3 産業の振興と雇用の場の創出

項目	主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R2	R3	R4	R5	R6				
③ 観光・交流産業の振興	2 観光・交流資源の活用・創出	4) 広域連携による取組の推進 — 一般社団法人イーストとくしま観光推進機構（徳島東部DMO）と連携し、既存の観光資源の磨き上げや新たな観光資源の開拓を図り、官民が一体となって観光戦略を推進します。 ・ 徳島東部地域DMO負担金	推進					<R2取組内容と進捗状況> ・ 徳島東部地域15市町村及び民間事業者が連携して設立した一般社団法人イーストとくしま観光推進機構による、官民一体となった観光戦略による観光地域づくりを推進する。 ・ 徳島東部地域を巡るモニターツアーを実施する。 <課題> ・ 広域連携によるメリット感のある連携事業の実施が必要である。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・ 広報体制の強化、見直しを進める。	・ 一般社団法人イーストとくしま観光推進機構と連携して官民一体となった観光戦略による観光地域づくりを推進していく。	産経	B
		5) ふるさと納税制度を活用した交流の推進 ふるさと納税制度を活用し、石井町の魅力を積極的にアピールし、町出身者をはじめとする町外在住の石井町を応援したいと思っている方たちとの連携を深め、活力ある地域づくりを進めます。 町内の事業所等の協力を得て、石井町内で生産・製造されている特産品を寄附のお礼の品として活用し、全国に向けて特産品のPRをするのと同時に、特産品を通じた石井町のファン獲得につなげます。 ・ ふるさと石井応援事業	推進					<R2取組内容と進捗状況> ・ 令和2年4月当初134品目であった返礼品は、令和3年3月に140品目となった。コロナ禍における自粛生活や、キャッシュレス化に伴う各ポータルサイトのポイント制度等の充実により、寄附申込が増加した。 <課題> ・ 申込件数の少ない返礼品について見直しを行い、寄附者の獲得を目指す必要がある。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・ 継続して事業を推進する。	・ コロナ禍の影響により観光イベント等でのPR機会が減少しているため、状況に応じた広報の方法を考え、今後もふるさと納税を通じて石井町のPRに努めていきたい。	総務	B
		【KPI】 観光地点等入込客数 58,000人（H30） → 60,000人（R6）	計画値	58,400人	58,800人	59,200人	59,600人	60,000人	・ 新型コロナウイルス感染症によりイベントの石井町納涼夏まつり・ウインターイルミネーション事業等が中止。桜・藤まつりに関しては、観賞のみであった。	産経	
			実績値	—							
			数値目標の達成度	—							
		【KPI】 スポーツ教室・大会参加者 14,745人（H30） → 15,000人（R6）	計画値	14,800人	14,850人	14,900人	14,950人	15,000人	・ KPIであるスポーツ教室・大会参加者は、新型コロナウイルス感染症の影響での中止や自粛のため11,325人で、計画値に達しなかった。今後の教室等の開催には、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら事業を継続する。	社教	
			実績値	11,325人							
			数値目標の達成度	△							
④ 人材の確保・育成	1 後継者育成	1) 農業従事者の育成 農業協同組合や県農業支援センターにおける営農指導や、就農初期段階の青年就農者への給付等により、担い手の安定的な農業経営確立のための支援を行います。また、大学や農業研究機関等との連携や、農業後継者クラブによる小学生を対象とした農業体験事業の助成等により、後継者の発掘・育成を推進します。 ・ 農業次世代人材投資事業 ・ 石井町農業後継者クラブ補助金	推進					<R2取組内容と進捗状況> ・ 農業次世代人材投資資金交付人数：5人 ・ 農業後継者クラブ会員数：12人 ・ 農業後継者クラブでは、月1回の会合（一部新型コロナウイルス感染症の対策のため中止）のほか、町民農園の管理、環境保全型交付金の取り組み、無人販売上の寄付、まつしげまるしえへの出店を実施した。 <課題> ・ 農業後継者クラブの会員の増加の推進をし、農業次世代人材投資事業の効果的な周知をしていく必要がある。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・ 継続して事業を推進していく。	・ 令和2年度の制度変更により農業次世代人材投資資金の交付条件等が厳しくなっているため、青年就農者に対しきめ細やかな対応を行う。 ・ 意欲ある青年就農者に対して経営開始型の農業次世代人材投資資金を交付することにより、農業後継者の育成に努める。	産経	B

基本目標3 産業の振興と雇用の場の創出

項目		主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R2	R3	R4	R5	R6				
④人材の確保・育成	1 後継者育成	2）商業後継者の育成 石井町商工会等と連携し、経営指導員による相談指導や講習会開催等、経営能力の向上や経営体質改善のための指導を強化します。 商業後継者組織の活動やイベント開催等の支援、他市町村事業者との交流機会の確保等により、担い手による商業振興の支援を推進します。 ・石井町商工会運営事業補助金【再掲】	推進					<R2取組内容と進捗状況> ・経営指導員による相談指導延件数：2,225 件 ・講習会開催による指導延回数及び延べ人数：47回・214 人 ・金融斡旋件数：13件 ・徳島県事業継続力強化支援計画認定事業の認定 ・記帳継続指導実施件数：76 事業所 ・商工会加入事業者数は、491 社で前年度より14社増加した。新規創業等による加入31社、廃業等による脱退者16社有り、500社前後を保っているが、後継者不足や高齢のための廃業等、少しずつ減少している。 <課題> ・会員事業主の高齢化 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・事業所内の事業承継、後継者不在事業所の第3者承継への勉強会や事業推進によるマッチング推進する。	・経営に不可欠な知識を講習会等で学んで頂き、自社の経営状況の把握や事業計画書の作成を行うことで持続的経営をおこなっている。	産経	B
		【KPI】新規就農者数 2人（H30） → 5人（R2～R6の累計）	計画値（累計）	1人	2人	3人	4人	5人	・KPIである新規就農者数には1人で、計画値を達成した。	産経	
			実績値（累計）	1人							
			数値目標の達成度	○							
	【KPI】展示会・商談会への参加支援（再掲） 14件（H27～H30の累計） → 15件（R2～R6の累計）								産経		
2 就労支援		1）元気高齢者の就労支援 シルバー人材センターの活動を通して、高齢者が地域社会の福祉の向上と活性化に関わり、生きがいの創出や仲間づくり、健康の維持・向上を支援します。また、シルバー人材センターの周知や活動広報を推進することにより、働く意欲のある高齢者の就労の機会を確保等、高齢者の活躍の場の充実を支援します。 ・シルバー人材センター運営事業	推進					<R2取組内容と進捗状況> ・就業延人員5,700人、就業実人員53人、就業率72.6%。 ・人員の培ってきた技能を生かして地域社会に貢献し、自らの健康増進といきがいに資している。 <課題> ・定年延長や再雇用等で企業に勤めるケースが増加しており、活動できる会員数の確保が困難になりつつある。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・R2に事務の人員を増やしたので、継続して様々なニーズに対応できるようにする。	・多様なニーズに対応できるよう、会員の更なる努力を仰ぐ一方、事業の周知と一層の受注拡大に努める。	長寿	B
		2）障がい者の就労支援 障がい者がその適性と能力に応じた就労の場を確保できるよう、事業者、学校、施設、その他関係機関・団体等との連携協力のもと、支援体制を充実します。 ハローワークや徳島障害者職業センター等との連携を強化し、相談支援の充実を図ります。「障害者優先調達法」に基づいた「障害者就労施設等からの物品等の調達方針」のより一層の取組を進めます。 ・障害福祉サービス（就労継続支援（A型）及び就労移行支援） ・障害者就労施設等からの物品等の調達	実施					<R2取組内容と進捗状況> ・就労希望者や一般企業での就労が困難な障がい者に対し、障がい福祉サービス＜就労継続支援（A型）及び就労移行支援＞を支給決定し、サービスの利用につなげた。 <課題> ・実際にサービス利用に至っていないケースがある。 <R2→R3戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を推進する。	相談支援事業所や学校等の関係機関と連携し、障がい者本人の適性と能力に応じた雇用の場に就くことができるよう支援する。	福祉	A

基本目標 3 産業の振興と雇用の場の創出

項目	主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					R2取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R2	R3	R4	R5	R6				
④人材の確保・育成	2就労支援	【KPI】シルバー人材センター就業延人員（年間） 6,803人（H30） → 6,800人（R6）	計画値	6,800人	6,800人	6,800人	6,800人	6,800人	<KPIの評価> ・KPIであるシルバー人材センター就業延人員は5,700人で、計画値を下回った。 <KPIの変更>	長寿	
			実績値	5,700人							
			数値目標の達成度	△							
		【KPI】障害者就労施設等からの物品等の調達 90,424円（H30） → 300,000円（R6）	計画値	100,000円	150,000円	200,000円	250,000円	300,000円	・KPIである障害者就労施設等からの物品等の調達は195,490円で計画値を達成した。	福祉	
			実績値	195,490円							
			数値目標の達成度	◎							

外部評価委員からの意見

・ふるさと納税の説明をいただきました。企業版ふるさと納税についても検討をされてはどうでしょうか。昨年度の税制改正で寄付額の9割までを法人関係税から控除することができ企業側のメリットが増えました。企業版ふるさと納税の活用について、検討されると町にとっては財政的な面でプラスになると思います。

・県は、石井町を拠点にアグリサイエンスゾーンにより知の拠点を形成しています。今後も県は、新たな企業参入や新たな就農の拠点ができるように取り組むので、引き続き情報交換をしながら進めていきたいです。

・農業者にとって、生産、加工、流通、販売までを手掛ける6次産業化はハードルが高いです。そのきっかけとなる加工の試作品について、徳島県立農林水産総合技術支援センターには、6次産業化のための機能がある調理機器類のオーブンラボがあるので活用してください。

・いいの藤やさいの取り組みは非常におもしろく、特に紫カリフラワーはインパクトがあります。生産拡大をされているという事です、この紫カリフラワーは、主に誰に対して販売をするのか、また誰に使っていただきたいのかを明確にして、戦略的に取り組むことが必要と思います。

・農業次世代人材投資資金の活用や農業後継者クラブについても積極的に活動をされています。農林水産統計では石井町は県下第5位です。農業が盛んな地域だという事が分かります。今後も維持・発展をするためには担い手の確保が重要です。引き続きの充実をお願いします。それから、農業従事者の数だけでなく、農業経営の規模拡大、法人化など、また農地中間管理機構などの活用により農地の集積、有効活用をし、今後も農業が発展・振興を図るようお願いをしたいと思います。

・農業の振興については、KPIなどがコロナの影響で未達成の項目があるものの、地域の皆様の協力より、コロナの影響も回復に向かって進みつつあります。農業従事者は労働時間の規制がなく、労働環境が厳しいイメージがあります。現代のITの技術や機械の力などを借りながら悪いイメージを払拭し、若い人の参入を図れるような施策を足していけばいいと思います。